

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 1 0	VER	4 . 5				
項目名称	出願番号		タイプ& レンジ	C 1 0					
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>Y₁Y₂Y₃Y₄</td> <td>N₁N₂N₃N₄N₅N₆</td> </tr> <tr> <td>C 4</td> <td>C 6</td> </tr> </table>					Y ₁ Y ₂ Y ₃ Y ₄	N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆	C 4	C 6
Y ₁ Y ₂ Y ₃ Y ₄	N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆								
C 4	C 6								

内 容	Y ₁ Y ₂ Y ₃ Y ₄ : 西暦年
	N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆ : 番 号 (右 詰 ・ 前 0)
	出願番号の番号体系は別紙参照。

備 考	1 . 出願番号・公開番号・公表番号・公告番号は、すべて同形式。
	2 . 商標の回復番号の場合、Y ₁ Y ₂ Y ₃ Y ₄ は 0 0 0 0
	N ₁ ~ N ₆ は当該文献の前0付きの登録番号と同値である。

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 1 0	VER	4 . 5
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

出願番号の番号体系 (1 / 2)

出願番号は番号体系により、以下の出願の種類を表現している。

(1) 特許

~ 1 9 7 8 年

1. 000001 ~ 999999 : 国内・通常出願

1 9 7 9 年 ~ 1 9 8 7 年

1. 000001 ~ 499999 : 国内・通常出願
2. 500001 ~ 999999 : P C T 出願

1 9 8 8 年 ~ 1 9 9 0 年

1. 000001 ~ 499999 : 国内・通常出願 (1990年のみ 400001 ~ 499999 電子出願)
2. 500001 ~ 699999 : P C T 出願
3. 700001 ~ 799999 : 特許権存続期間延長出願
4. 800001 ~ 999999 : 協定出願

1 9 9 1 年 ~

1. 000001 ~ 499999 : 国内・通常出願 (電子出願)
2. 500001 ~ 699999 : P C T 出願 (2000年 ~ 電子出願)
3. 700001 ~ 799999 : 特許権存続期間延長出願
4. 800001 ~ 999999 : 協定出願

(2) 実用新案

~ 1 9 7 8 年

1. 000001 ~ 999999 : 国内・通常出願

1 9 7 9 年 ~ 1 9 8 7 年

1. 000001 ~ 599999 : 国内・通常出願
2. 600001 ~ 999999 : P C T 出願

1 9 8 8 年 ~ 1 9 9 0 年

1. 000001 ~ 599999 : 国内・通常出願 (1990年のみ 400001 ~ 599999 電子出願)
2. 600001 ~ 999999 : P C T 出願

1 9 9 1 年 ~

1. 000001 ~ 599999 : 国内・通常出願 (電子出願)
2. 600001 ~ 999999 : P C T 出願 (2000年 ~ 電子出願)

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 1 0	VER	4 . 5
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

出願番号の番号体系 (2 / 2)

(3) 意匠

~ 1 9 9 6 年

1. 000001 ~ : 通常出願

1 9 9 7 年

1. 000001 ~ 049999 : 通常出願 (1997年1月 ~ 3月)

2. 050001 ~ : 通常出願 (1997年4月 ~ 12月)

1 9 9 8 年 ~ 1 9 9 9 年

1. 000001 ~ : 通常出願

2 0 0 0 年 ~

1. 000001 ~ : 通常出願 (電子出願)

(4) 商標

1 9 7 8 年

1. 000001 ~ 249999 : 通常出願

2. 250001 ~ : 更新出願

1 9 7 9 年 ~ 1 9 9 1 年

1. 000001 ~ 199999 : 通常出願

2. 200001 ~ : 更新出願

1 9 9 2 年 ~ 1 9 9 6 年

1. 000001 ~ 699999 : 通常出願

2. 700001 ~ : 更新出願

1 9 9 7 年

1. 000001 ~ 099999 : 通常出願

2. 100001 ~ 699999 : 通常出願 (一出願多区分)

3. 700001 ~ 749999 : 更新出願

4. 750001 ~ : 防護更新出願

1 9 9 8 年 ~ 1 9 9 9 年

1. 000001 ~ 499999 : 通常出願 (一出願多区分)

2. 500001 ~ 699999 : 書換申請

3. 700001 ~ : 防護更新出願

2 0 0 0 年 ~ 2 0 0 3 年

1. 000001 ~ 349999 : 通常出願 (一出願多区分、電子出願)

2. 350001 ~ 499999 : マドリッドプロトコル出願 (整理標準化マドプロ管理番号 B0250)

3. 500001 ~ 699999 : 書換申請 (電子出願)

4. 700001 ~ : 防護更新出願 (電子出願)

2 0 0 4 年 ~

1. 000001 ~ 349999 : 通常出願 (一出願多区分、電子出願)

2. 350001 ~ 499999 : マドリッドプロトコル出願 (整理標準化マドプロ管理番号 B0250)

3. 500001 ~ 699999 : 書換申請 (電子出願)

4. 700001 ~ 799999 : 防護更新出願 (電子出願)

5. 800001 ~ : 重複登録更新出願 (電子出願)

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 6 0	VER	4 . 1		
項目名称	優先権主張番号		タイプ& レンジス	X 4 0 (最大)			
データ形式	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">X 1 ~ X 4 0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">X 4 0</td> </tr> </table>					X 1 ~ X 4 0	X 4 0
X 1 ~ X 4 0							
X 4 0							
内 容	<p>各国別に体系の異なる一連番号。</p> <hr/> <hr/> <p>データは最大40桁で、有効桁数分のみで存在する。</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>						
	備 考	<p>「基礎出願番号」「基礎登録番号」も同様。</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>					

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 7 0	VER	4 . 1														
項目名称	出願人・代理人コード		タイプ& レンジス	C n (n=2 or 3 or 4 or 9)															
データ形式	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="border:1px solid black; padding: 2px; text-align:center;">C₁C₂</td> <td style="padding: 0 10px;">or</td> <td style="border:1px solid black; padding: 2px; text-align:center;">C₃N₁N₂</td> <td style="padding: 0 10px;">or</td> <td style="border:1px solid black; padding: 2px; text-align:center;">C₄N₃N₄N₅</td> <td style="padding: 0 10px;">or</td> <td style="border:1px solid black; padding: 2px; text-align:center;">N₆ ~ N₁₄</td> </tr> <tr> <td style="border:1px solid black; padding: 2px; text-align:center;">C₂</td> <td></td> <td style="border:1px solid black; padding: 2px; text-align:center;">C₃</td> <td></td> <td style="border:1px solid black; padding: 2px; text-align:center;">C₄</td> <td></td> <td style="border:1px solid black; padding: 2px; text-align:center;">C₉</td> </tr> </table>					C ₁ C ₂	or	C ₃ N ₁ N ₂	or	C ₄ N ₃ N ₄ N ₅	or	N ₆ ~ N ₁₄	C ₂		C ₃		C ₄		C ₉
C ₁ C ₂	or	C ₃ N ₁ N ₂	or	C ₄ N ₃ N ₄ N ₅	or	N ₆ ~ N ₁₄													
C ₂		C ₃		C ₄		C ₉													
内 容	<p>(1) 桁数が 2 桁の時、出願国コード (コード表 C 0 0 5 0 参照)</p> <p style="padding-left: 40px;">C₁C₂ : 数字又は英字</p>																		
	<p>(2) 桁数が 3 桁の時、特許庁・旧出願人コード</p> <p style="padding-left: 40px;">C₃ : 数字又は A</p> <p style="padding-left: 40px;">N₁N₂ : 数字</p>																		
	<p>(3) 桁数が 4 桁の時、特許庁・旧代理人コード</p> <p style="padding-left: 40px;">C₄ : 数字又は A ~ F 又は G</p> <p style="padding-left: 80px;">数字又は A ~ F : 弁理士の登録番号を示す</p> <p style="padding-left: 80px;">G : 特許業務法人の登録番号を示す</p> <p style="padding-left: 40px;">N₃N₄N₅ : 数字</p>																		
	<p>(4) 桁数が上記以外の時</p> <p style="padding-left: 40px;">以下のものは申請人 I D コード (コード表 B 0 1 9 0 参照)</p> <p style="padding-left: 40px;">・ 基本情報内、出願人代理人記事で電子出願のもの</p> <p style="padding-left: 40px;">上記以外のものは、前 0 を削除した有効桁数分が、旧出願人コード又は旧代理人コードとなる。</p>																		
備 考	<p>「出願国」コード入力の特許・実用新案のみで、1990年からデータが発生。</p>																		

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 9 0	VER	4 . 5					
項目名称	中間コード		タイプ& レンジス	C n (n = 2 ~ 7)						
データ形式	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">N₁N₂N₃N₄N₅N₆</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">or</td> <td style="text-align: center;">C₁N₁N₂N₃N₄N₅N₆</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C 2 ~ C 6</td> <td style="text-align: center;">C 3 ~ C 7</td> </tr> </table>					N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆	or	C ₁ N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆	C 2 ~ C 6	C 3 ~ C 7
N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆	or	C ₁ N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆								
C 2 ~ C 6		C 3 ~ C 7								
内 容	<hr/> N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆ : 左詰、2 ~ 6 桁 <hr/> 但し、N ₄ 以降が存在する場合、N ₃ はスペース <hr/> 審判の中間コード (コード表 C 0 8 5 0 参照) <hr/> <hr/> <hr/> C ₁ : A 又は R <hr/> N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆ : 左詰め、2 ~ 6 桁の数字 <hr/> C ₁ = A の時、審査の中間コード (コード表 C 0 8 4 0 参照) <hr/> C ₁ = R の時、登録の中間コード (コード表 C 0 8 6 0 参照) <hr/> ただし、登録の中間コードの一部で C ₁ = A を用いるものもある。 登録の中間コードについては次紙を参照。 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>									
	備 考	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>								

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 9 0	VER	4 . 5
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

登録の中間記録

登録の中間記録は大別すると、出願関係の記録、設定及び年金関係の記録、移転関係の記録及びその他の記録がある。

(1) 出願関係の記録

特許査定書・登録査定書 (A 0 1)
 出願却下処分書 (A 0 4 5)
 誤送通知書 (A 2 6)
 再送 (A 2 8)
 官報 (A 2 9)

(2) 設定及び年金関係の記録

中間コードの構成は、以下のとおりである。

R X X X X X X

- 通番 (左詰・1 ~ 4 桁の数字)
- 書類識別
 - 0 : 納付書
 - 1 : 補充書
 - 2 : 補足書
 - 5 : 登録証・領収証・登録通知書・処分前通知・書換通知
 - 6 : 却下理由通知
 - 7 : 却下処分
 - 8 : 補充指令
 - 9 : 弁明書・上申書・雑書類
- 業務識別
 - 1 : 設定
 - 2 : 年金

(3) 移転関係の記録

中間コードの構成は、以下のとおりである。

R 3 X X X X X

- 書類番号
 - 四法種別
または
書類種別
 - 業務識別
- 書類ごとの番号
- 1 : 特許
 - 2 : 実用新案
 - 3 : 意匠
 - 4 : 商標
 - 5 : 移転済通知書
 - 6 : 却下理由通知・物件提出命令
 - 7 : 却下処分・取下
 - 8 : 補充指令
 - 9 : 補正書・弁明書・物件提出書・上申書・雑書類
 - D : 代理人変更届等
 - E : 印紙還付 (移転)
 - 3 : 移転

(4) その他の記録

誤送通知 (R 9 0 x)
 職権取消通知 (R 9 1 x)
 無効通知 (R 9 2 x)
 職権更正通知 (R 9 3 x)

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 1 0	VER	4 . 1
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

項目名称	出訴番号	タイプ& レンジ	X 8
------	------	-------------	-----

データ形式	<table border="1"> <tr> <td>N1</td> <td>Y1Y2</td> <td>X</td> <td>N2N3N4</td> </tr> <tr> <td>C1</td> <td>C2</td> <td>X2</td> <td>C3</td> </tr> </table>	N1	Y1Y2	X	N2N3N4	C1	C2	X2	C3
	N1	Y1Y2	X	N2N3N4					
C1	C2	X2	C3						

内 容	N1	: 元号コード	1 ; 明治
			2 ; 大正
			3 ; 昭和
			4 ; 平成
	Y1Y2	: 和暦年	(右詰・前 0)
	X	: 出訴区分	ウ ; 地裁
			コ ; 高裁
			ツ ; 最高裁
	N2N3N4	: 一連番号	(3桁、右詰・前 0 の年間通番)

備 考	出訴区分は下記 2 バイト (表記は 1 6 進) の形態で提供される
	ウ : 8EB3
	コ : 8EBA
	ツ : 8EC2

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 2 0	VER	4 . 1
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

審判番号の番号体系

番号体系は、審判請求年と審判の種別により、以下の使い分けがなされている。

番号	～平成5年	平成6,7年	平成8年	平成9年	平成10,11年	平成12～15年	平成16年 1月～3月	平成16年 4月～	
1～30,000	査定不服 無効、 訂正、 取消	査定不服、 無効（新実用新案を除く）、 訂正、取消	査定不服						
30,001～35,000			取 消						
35,001～39,000			無効(平成16年3月受付分まで)						
39,001～40,000			訂 正						
40,001～50,000			新実用無効						
50,001～60,000	補 正								
60,001～65,000	判 定						査定不服：国際商標		
65,001～66,000							取 消：国際商標		
66,001～67,000							無 効：国際商標		
67,001～68,000							付与後異議：国際商標		
68,001～69,000							補正却下不服：国際商標		
69,001～69,500							判 定：国際商標		
69,501～69,600							再 審：国際商標		
69,601～69,700							除 斥：国際商標		
69,701～69,800							忌 避：国際商標		
69,801～69,900							証拠保全：国際商標		
69,901～70,000									
70,001～80,000	再 審	付与後異議（特許・旧実用新案）					-		
80,001～85,000	除 斥						無効 (平成16年 4月～)		
85,001～90,000	忌 避								
90,001～95,000	証拠保全	付与後異議（商標）							
95,001～96,000	旧法出願の抗告	再 審							
96,001～97,000		除 斥							
97,001～98,000		忌 避							
98,001～99,000		証拠保全							
99,001～99,999		抗 告							

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 3 0	VER	4 . 2				
項目名称	出訴事件番号		タイプ& レンジ	C 1 0					
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>Y₁Y₂Y₃Y₄</td> <td>0 0 N₁N₂N₃N₄</td> </tr> <tr> <td>C 4</td> <td>C 6</td> </tr> </table>					Y ₁ Y ₂ Y ₃ Y ₄	0 0 N ₁ N ₂ N ₃ N ₄	C 4	C 6
Y ₁ Y ₂ Y ₃ Y ₄	0 0 N ₁ N ₂ N ₃ N ₄								
C 4	C 6								

内 容	Y ₁ Y ₂ Y ₃ Y ₄ : 西暦年
	0 0 N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ : 番 号 (0 0 は、固定値。4桁、右詰・前0)
	但し、西暦年 (Y ₁ Y ₂ Y ₃ Y ₄) が「 2 0 0 5 」のものに関しては、番号部先頭の「 0 0 」を「 0 1 」に読み替える。(知的財産高等裁判所設立に伴い、番号体系が4桁から5桁へ変更されたことによる暫定運用)

備 考	1 . 出訴事件番号、上告事件番号、上告受理番号、付带上告事件番号はすべて同形式。
	2 . 2000年以降の更新で発生するデータでは、「付带上告事件番号」は提供対象外。

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 8 0			VER	4 . 0
項目名称	決定分類			タイプ& レンジ	タグ省略時、 最大26桁構成		
データ形式	四法	適用法	審級	審判種別	判示事項	結論	分類
	C 1	C 1	C 1	C 3	C 3	C 3	C 1 3

内 容	四法	: 数字	(コード表 C 0 0 1 0 参照)
	適用法	: 数字又は英字	(コード表 C 0 5 7 0 参照)
	審級	: 数字	(コード表 C 0 5 8 0 参照)
	審判種別	: 左詰め、最大3桁の数字	(コード表 C 0 4 6 0 参照)
	判示事項	: 左詰め、最大3桁の数字	(コード表 C 0 5 9 0 参照)
	結論	: 左詰め、最大3桁の英字	(コード表 C 0 6 0 0 参照)
	分類	特許・実用新案の時、IPCのセクション(C1),クラス(C2),サブクラス(C1)までの全4桁。 意匠の時、意匠分類のグループ(C1),大分類(C1),小分類の先頭1桁(C1)までの全3桁。又は、意匠分類のグループ(C1),大分類(C1),ハイフン[-](C1),小分類の先頭1桁(C1)までの全4桁、のいずれか。 商標の時、区分(C2)の2桁。多区分では最大6個までの2~12桁。 最初の区分の前の1バイトが法区分、以降は分類。	
	訟務	: 数字	(コード表 C 0 6 1 0 参照)

備考	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
----	-------------------------------------

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 9 0	VER	3 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

申請人IDコードの説明

項番	申請人区分 (1桁)	登録年 (2桁)	シーケンス 番号 (5桁)	チェック デジット (1桁)	付与方法	内容
1	0	00	10001 ~		初期登録時の番号管理 テーブル	J A P I Oからの移行分 初期登録時に移行
2			0Zxxx		xxxは出願人コードを 割当てる。 但し、先頭1桁が A の場合Zは1、xの先頭1 桁は0となる。 上記以外Zは0となる	A B Cテーブルからの移行分 初期登録時に移行
3	1	00	xxxxx		xxxxxに代理人コー ドを割当てる	弁理士専用 初期登録時の移行 + *電子出願開始 後の付与請求書を含む
4		10	00001 ~		番号管理テーブル	特許業務法人専用 2001年弁理士法改正後の付与請 求、職権登録により登録
5	2	10	0xxxx		xxxxに代理人コード を割当てる	企業代理人専用 初期登録時に代理人資格が0（一般 人）のものを移行
6		20	10001 ~		番号管理テーブル	*電子出願開始後の指定代理人専用 職権登録、付与請求書により登録
7			0xxxx		xxxxに指定代理人 コードを割当てる	*電子出願開始後の指定代理人専用 初期登録時に移行
8		30	10001 ~		番号管理テーブル	*電子出願開始後の弁護士専用 職権登録、付与請求書により登録
9			0xxxx		xxxxに弁護士コード を割当てる	*電子出願開始後の弁護士専用 初期登録時に移行
10		40	00001 ~		番号管理テーブル	弁護士法人専用 2002年4月弁護士法改正後の付 与請求、職権登録により登録（但 し、予定）
11	3~4	YY	00001 ~		番号管理テーブル YYは西暦年下2桁	付与請求書による登録
12	5~7	YY	00001 ~		番号管理テーブル YYは西暦年下2桁	職権による登録
13	8	YY	00001 ~		番号管理テーブル YYは西暦年下2桁	大学等における技術に関する経営研 究成果の民間事業者への移転の促進 に関する法律に基づき事業計画書が 承認・認定された技術移転事業者専 用（付与請求による登録）
14	9	ZZ	00001 ~		番号管理テーブル ZZは都道府県コード	即日出願用 発明協会支部端末からの出願（即日 出願用）、その他

*電子出願：コードINDEX B 0 0 1 0参照のこと

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 2 0	VER	2 . 0		
項目名称	国際登録番号		タイプ& レンジス	C 7			
データ形式	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>N₁N₂N₃N₄N₅N₆N₇</td> </tr> <tr> <td>C 7</td> </tr> </table>					N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆ N ₇	C 7
N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆ N ₇							
C 7							
内 容	<hr/> N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆ N ₇ : 右詰前 0 の数字 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>						
	備 考	<hr/> 国際登録された際の登録番号。 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>					

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 3 0	VER	2 . 0						
項目名称	ウィーン分類		タイプ& レンジ	C n (n = 4 or 6)							
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>大分類</td> <td>中分類</td> <td>小分類</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 2</td> </tr> </table>					大分類	中分類	小分類	C 2	C 2	C 2
大分類	中分類	小分類									
C 2	C 2	C 2									

内 容	大分類	: 数字 (0 1 ~ 9 9)	
	中分類	: 数字 (0 1 ~ 9 9)	
	小分類	: 数字 (0 1 ~ 9 9) 又は なし	

備 考	(公報での表記形式)
	(a) 大分類、中分類及び小分類の番号は前ゼロを省略し、ピリオドで分けられる。
	(例) 大分類03、中分類09、小分類10 3.9.10
	(b) 分類が複数あるときは、セミコロンにより連続して表記する。
	(例) 大分類03、中分類09、小分類16 と 大分類04、中分類10、小分類17 3.9.16;4.10.17
	(c) 小分類の番号が含まれない場合は、小分類は省略される。
	(例) 大分類03、中分類09 と 大分類04、中分類10 3.9;4.10

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 4 0		VER	4 . 0		
項目名称	判決分類			タイプ& レンジ	タグ省略時、 最大27桁構成			
データ形式	四法	適用法	審級	審判種別	判示事項	判決結論	分類	訟務
	C 1	C 1	C 1	C 3	C 3	C 4	C 1 3	C 1

内 容	四法	: 数字	(コード表 C 0 0 1 0 参照)	
	適用法	: 数字又は英字	(コード表 C 0 5 7 0 参照)	
	審級	: 数字	(コード表 C 0 5 8 0 参照)	
	審判種別	: 左詰め、最大3桁の数字	(コード表 C 0 4 6 0 参照)	
	判示事項	: 左詰め、最大3桁の数字	(コード表 C 0 5 9 0 参照)	
	判決結論	: 左詰め、最大4桁の英字	(コード表 C 1 2 3 0 参照)	
	分類	特許・実用新案の時、IPCのセクション(C1),クラス(C2),サブクラス(C1)までの全4桁。 意匠の時、意匠分類のグループ(C1),大分類(C1),小分類の先頭1桁(C1)までの全3桁。 商標の時、区分(C2)の2桁。多区分では最大6個までの2~12桁。 最初の区分の前の1バイトが法区分、以降は分類。		
	訟務	: 数字	(コード表 C 0 6 1 0 参照)	

備 考	

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 5 0	VER	2 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

項目名称	整理標準化マドプロ管理番号	タイプ& レンジス	C 1 0
------	---------------	--------------	-------

データ形式	Y ₁ Y ₂ Y ₃ Y ₄	N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆
	C 4	C 6

内 容	Y ₁ Y ₂ Y ₃ Y ₄ : 西暦年
	N ₁ N ₂ N ₃ N ₄ N ₅ N ₆ : 番 号 (3 5 0 , 0 0 1 ~ の連番)

備 考	1 . 商標公開情報区分内では、「出願番号<application-number>」として記録される。
	2 . 商標イメージファイルの「キー部」にも、「出願番号」として記録される。

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 3 1 0	VER	3 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

種別に対する意味の見方

各要素間の分離
種別の各要素を下記に従い分離する。

C₁C₂C₃C₄

- 0 0 0 C₄ (C₄ = 0 の時は C₄ に対する分離は無いものとする)
 - 0 0 C₃ 0 (C₃ = 0 の時は C₃ に対する分離は無いものとする)
 - 0 C₂ 0 0 (C₂ = 0 の時は C₂ に対する分離は無いものとする)
 - C₁ 0 0 0 (C₁ = 0 の時は C₁ に対する分離は無いものとする)
- 但し、種別が 0 0 0 0 の時は、そのまま 0 0 0 0 として扱う。

上記基準により分離されることにより 1 つの種別が複数の種別となり複数の意味を持つことになる。

1 つの要素内の分解

で分離された各種別の C_n を各々下記基準に従い分解する。

0	0	8	8
1	1	9	1 , 8
2	2	A	2 , 8
3	1 , 2	B	1 , 2 , 8
4	4	C	4 , 8
5	1 , 4	D	1 , 4 , 8
6	2 , 4	E	2 , 4 , 8
7	1 , 2 , 4	F	1 , 2 , 4 , 8

上記基準により分解されることにより 1 つの要素が複数の要素となり複数の意味を持つことになる。

及び で分離、分解した各種別、各要素をコード記号として対応する意味をコード表より探す。

【具体例】

商標 出願種別 (0 0 0 0) の場合

- より「0 0 0 0」 「0 0 0 0」として扱う
- より「0 0 0 0」 「0 0 0 0」の 1 つの意味を持つ
- (コード表 C 0 0 2 0) より「0 0 0 0」 「通常」
- 出願種別 (0 0 0 0) は「通常」の意味を示していることとなる

特許 出願種別 (0 0 0 A) の場合

- より「0 0 0 A」 「0 0 0 A」となる
- より「0 0 0 A」 「0 0 0 2」、「0 0 0 8」の 2 つの意味を持つ
- (コード表 C 0 0 2 0) より「0 0 0 2」 「併合」
- (コード表 C 0 0 2 0) より「0 0 0 8」 「変更」
- 出願種別 (0 0 0 A) は「併合、変更」の意味を示していることとなる

意匠 出願種別 (0 0 4 4) の場合

- より「0 0 4 4」 「0 0 0 4」、「0 0 4 0」に分離される
- より「0 0 0 4」 「0 0 0 4」の 1 つの意味を持つ
- より「0 0 4 0」 「0 0 4 0」の 1 つの意味を持つ
- (コード表 C 0 0 2 0) より「0 0 0 4」 「分割」
- (コード表 C 0 0 2 0) より「0 0 4 0」 「類似」
- 出願種別 (0 0 4 4) は「分割、類似」の意味を示していることとなる

